

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	・思いや意向の把握 自身の思いをあまり出さない方や、意志表出が困難な方の思いや大切にしていることを把握しきれていない。	利用者の思いや大切にしていることの記録を増やし、把握することができるようになる。	・職員個別研修で思いを聞き取ることの大切さを繰り返し伝えていく。 ・介護計画作成時に本人、家族に聞く。 ・介護計画評価時に記録の見直しを行い、希望の表出がないか確認する。 ・アセスメントシート更新時に本人、家族に希望や思いに付いて変更がないか確認する。 ・表出が困難な方には家族との相談回数を増やし、大切にしてきたことや習慣に付いて聞き取るようにする。	5 か月	
2	48	・役割、楽しみごとの支援 利用者それぞれの役割はあるが、まだ自主的に行えたり、共同して行うことがまだ十分にはできていない。	利用者それぞれが自身の役割を認識し、自主的に活動できる環境作りができる。	・介護計画作成時に、その方の希望も聞きながら、自信のある役割を持っていただくようにする。 ・実際に役割を行うなかで、支援が必要な部分や一人で出来るようになる部分を見極め、介護計画評価時に話し合い工夫していくようにする。 ・把握した思いや意向を実現できるよう職員会で話し合ったり、介護計画に盛り込むことで楽しみのある暮らしが送れるよう支援する。	5 か月	
3	49	・日常的外出支援 その日の気分や楽しみとしての外出を日常的な活動としてはまだ十分にできていない。また利用者それぞれの行きたい場所へ出かれられるような取り組みを行いたい。	近隣への日常的な外出や個別の外出が行えるようになる。	・把握した思いや意向を把握するときに、行きたい場所も聞き取るようにする。 ・業務内容を見直し、その日の気分での外出が実行できるように改善する。 ・日常的に行けない場所の場合には介護計画等にて立案し、実現できるように取り組む。 ・毎月のリーダー会にて実現が困難なケースは相談し、どうすれば実現できるか検討する。	5 か月	
4	10	・運営に関する利用者・家族意見の反映 利用者や御家族と話し合う機会はあるが、面と向かって言えない事もあると思われるため、現在は意見を十分に伝えられていないと思われる。また、事業所の取り組みについても十分に伝えられていないため、意見を出しにくい状況である。	利用者、御家族に運営や取り組みを知ってもらい、意見を出し合える環境をつくる。	・次回の家族会に向け、事前にアンケートを実施し、御家族の思いや不安が把握できるようにする。 ・毎月御家族に手紙を作成し、行事の様子や医療状況をお伝えできるようにする。 ・ホーム便りを見直し、事業所の取り組みや運営について、また御家族の知りたいことが掲載できるよう検討を行う。	5 か月	
5	2	・事業所と地域とのつきあい 地域の方々に事業所は知っていただいているが、ホーム内の様子や利用者についてはあまり知られておらず、また身近な存在として相談しやすい関係にまでは至っていない。	地域の方が気軽に相談できたり、日常的に利用者と交流できる関係作りができるようになる。	・運営推進会議での茶話会を継続して案内し、少しでも地域の方に来ていただけるよう取り組む。 ・地域の郵便局などへも積極的に出掛け、外出時に地域の方と交流できるようにする。 ・地域の小学校との交流を深められるよう、交流の機会を学校の先生と検討する。	5 か月	
6	13	・職員を育てる取り組み 新しい職員もおり、職員の力量や経験に差がある為、日々の活動に差が生じる。	サービスの質の向上が図れるよう、職員育成を行うことが出来る。	・毎月職員全体での勉強会を行う。 ・年2回、職員の力量に合わせて個別の研修を行う。 ・職員は年に1回外部の研修を受講できるよう勤務体制や費用負担を検討する。 ・毎日の業務上での悩みや支援方法など相談できるよう毎夕話し合いの場を設ける。	5 か月	

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( 該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他( )
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他( )